

「日本人になったと思う瞬間」

コリンニッキパグリナワン

「日本人になりたい！」

あの可愛い制服が着たいし、今の制服のスカートが一色で長くてダサい。上級生を「先輩」と呼びたい。お弁当も、中身はともかく、ビニールじゃなくて可愛いふろしきで包んで欲しい。

ああ、日本人になれたらいいなあ。

いや、絶対なる！なってやる！

と幼い頃から語ってきました。

なんで日本人になりたいのかというと、理由はアニメが大好きで憧れていたのです。アニメは美少年と美少女、ステキな服装、凛々しいヒーロー、ときめく恋愛、感動的な友情の世界です。アニメを観るとその世界に吸い込まれている様で、観たくてたまりません。それが日本のモノだとわかった時、日本人になれば、アニメみたいになれると思いました。それから、周りの人に変だと思われ、オタクになった様に、アニメソングを歌って、アニメキャラを真似してなりきりました。

それでも足りませんでした。何をしても日本人にはなれなかったのです。

それで、私は考えました。日本語を勉強しよう！

早速、日本語を教えてくれる人を探し出して見つけても、高校生の私はお金がなかったです。代わりにインターネットを使って、ひらがなとカタカナを書きまくって、たった 3 日で覚えることができました。大した事じゃないのに達成感がありました。その日からインターネットを通して日本語を一人で真剣に勉強してきました。

数年後、日本語を専攻している大学があるという情報を耳にしました。そして、大学で 4 年間日本語を勉強して、日本語能力検定試験 N2 まで合格しました。日本語だけでなく、文化、歴史、国民性なども勉強しました。そこで、日本人が礼儀正しく、ルールに従うのが常識で、発展していても文化を大切にしている人達だと分かって、日本の事が益々好きになりました。

でも、まだまだ足りないのです。言葉を覚えても、文化を勉強しても、使う場面が全くないのです。そこで、やっと日本に来ることにしました。

初めて日本に来たのは、たった1ヶ月間の短期留学でした。その後、大学を卒業して、日本に飛んできました。日本に来てまず、カルチャーショックを受けたけど、嬉しかったです。だって、4年間学校で勉強していた国を、生で見られたからです。

例えば、憧れていたアイドルを見ているファンのような気持ちでした。その時は、早く日本生活に慣れて日本人にならなきゃと思いました。でも、どうやって早く慣れるのだろう。そこで、ある言葉を思い出しました。「郷に入っては郷に従え」。

昔アニメキャラになりきったみたいに、日本人を真似すればいいんだ！

例えば、よくお辞儀をしたり、何事でも「すみません」と言ってしまったり、「私？」と言うとき、必ず鼻先を指差したり、「いいえ、いいえ」と言いながら顔の前で手を振ったりしています。更に、アルバイトの時、「よいしょ」という言葉がよく聞こえていました。よく観察していたら、それは力を入れる時に言うのが分かりました。面白い！言ってみようじゃないか！それから、座る時もお皿を持ち上げる時も「よいしょ」と言います。そして最後に、これが一番日本人らしいと言われるそうです。麺を食べる時、すすっています。前は全然できななかったけれど、すすると、麺はより美味しくなった気がしました。

このように私は、1年間、日本人を観察して真似してきました。意識もせずそれをするようになって、毎日会う日本人に「日本人のような雰囲気をしてるね」と言われたとき、やった！と思ったのです。あ～日本人になれたのかも。やった！

こんな風に私は、日本の事が好きになって日本人になったと思ったのです。とは言え、フィリピンが嫌いな訳ではありません。もちろん、私の心にはフィリピンと言う特別な場所があります。

日本人になる道はまだまだ長いです。でも、ここまで来たからには進むのみ、絶対に諦めないのです。